



自宅で簡単おもちゃ作り

休館中のこどもセンターから配信

緊急事態宣言を受け休館しているこどもセンターで、自宅で楽しく親子で遊んでもらおうと、オンラインイベントが行われました。

参加者は、自宅にある紙コップと輪ゴムを使って、手軽にできるおもちゃ作りを体験。「オンラインでのやりとりは難しいと思っていたけれど、接続も簡単にできました」と好評で、こどもセンターの担当者は「今後もオンラインイベントを予定しているので、気軽に参加してほしい」と話していました。



カルガモの親子

寝屋川でス〜イスイ

打上川治水緑地近くの寝屋川で、カルガモのヒナが親鳥の後ろについて泳ぎ回り、市民を和ませています。

水面を泳ぐカルガモの親子の姿は、春から初夏にかけての風物詩。辺りを見回すようなしぐさの親鳥を8羽のヒナが一列になって追いかける姿に川沿いの歩道で見守っていた近くの住民たちは「かわいい〜」「心が癒されますね」と目を細めていました。撮影した佐藤良彦さんは「水面を何度も往復していました」と話していました。



梅雨空にアジサイ鮮やか

打上川治水緑地

打上川治水緑地のアジサイが今年も色とりどりの花を咲かせ、市民の目を楽しませていました。

歩道沿いに植えられたアジサイは約3000株。赤や紫、ピンクの花を付けて初夏の公園を彩り、散歩やジョギングで訪れた市民も足を止めて眺めていました。



生き物に優しい米作り

子どもたちも田植え体験

田んぼを耕さず、農薬や肥料を使わない自然農法による田植えが市内で行われました。

市立成美小学校で長年教師を勤めた千田正喜さんが田んぼを提供し、同小学校の保護者で作る「おやじの会」のメンバーや子どもたち17人が参加。枯草で覆われた田んぼに手作りの「田植え定規」を使って40cm間隔に穴を開け、苗を1本ずつ手作業で植えました。千田さんは「毎年おいしいお米がとれ、無農薬で田んぼも耕さないため、土の中の生き物にも優しい米作りです」と話しています。